
ポンディングストーリー

USAVICH

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポンディングストーリー

【Nコード】

N87890

【作者名】

USAVICH

【あらすじ】

ポンディングが作られた時代の背景には驚愕の真実があるのかな
いとか。

これを読んだらあなたは絶対たんぽぽ畑でポンディングが食べたく
なるはず！！

(前書き)

ポンドリング誕生の歴史。

そこにはとある小さな村とたんぽぽの神様が関係していたらしい。すごい短編なのでいそがしい方でも無理なく読み切れます。

ポンドリングは自分で買ってたべてね

昔々あるところに一年中たんぽぽが至る所に咲いている村があった
そうなの。

その村ではたんぽぽが崇められ、たんぽぽには神様が宿っていると
信じられてきた。

たんぽぽは英語で『ダンデライオン』そしておいしいドーナツは『
ポンデリング』

そう。そうだった……。

ある時村に隣町から行商人が押し寄せてきてこう言った。

「おいしいポンデリングにはたんぽぽを原料に使うのだ。

この村に咲いているたんぽぽは我々が頂戴していく」

村のたんぽぽの危機に、村の長は古くから伝わるオカリナを手に取
った。

これを吹くとたんぽぽの神様が現れて村の危機を救うだろうと言
い伝えられていた。

長がブレイクダンスよろしく頭を軸にして回転しながらオカリナを
吹くと

ものの見事にたんぽぽの神様が現れてこう告げた。

「ポンドリングうまいんだからいいじゃん。
ケチケチしないでたんぽぽぐらいあげちゃえよ、な？」

こうしてむらのたんぽぽはすべて伐採され。村にはポンドリングし
が残らなかったとさ。

めでたしめでたし

(後書き)

トイストーリー3見たんですが、一瞬だけポンドライオンみたいなおもちゃが

映ってた気がするのは気のせいかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8789o/>

ポンデリングストーリー

2010年11月13日04時02分発行